

Aさんの条件

約二十坪、五・五mの狭い間口の敷地に
五人家族に必要な部屋、
駐車スペースを確保しつつ、
ゆとりのある家がほしい

スキップフロアの楽しい階段、
見晴らし台のある家



書棚や創作照明で楽しめる階段

仕事を依頼されたキッカケは

妻の友人。家が手狭になったので建替えたいとの相談を受けました。私の設計した住宅を見てもらうとともに、コラージュ（切り貼り絵）を用いた設計方法を説明しました。また現状敷地における様々な可能性についての説明を行い、その方針に理解をいただき、設計を依頼されました。

どういった条件があったのか

五・五mという狭い間口の敷地で、かつ第一種高度地区の斜線制限が厳しく、プランの自由度が制限されました。二十坪、建蔽率五十%、容積率百%という厳しい条件に対し、五人家族に必要な部屋を確保するとともに駐車スペースやベランダなどの外部空間が必要とされました。その上で、ゆとりがあり癒される空間が希望でした。

実現できたこと、

設計の過程でももしろかったこと

「癒され元気になる家」を目指し、家族でつくったコラージュからヒントを得て「楽しい階段の見晴らし台のある家」をコンセプトにしました。地下と小屋裏を設け、子ども室はベッドで立体的に使いながらスキップフロアで空間に連続性を持たせました。階段には本棚と創作照明、屋上に見晴らし台を設けるなど楽しい空間づくりをしつつ、木格子のベランダを設け広さ感を出しました。丸太の大黒柱や、家族製作の手作りタイル、家族全員での珪藻土塗りなど、手づくり感のある家となりました。



各子供室はベッドで立体的に使う



ベランダでつづく。駐車場も確保



リビングの中心には丸太の大黒柱



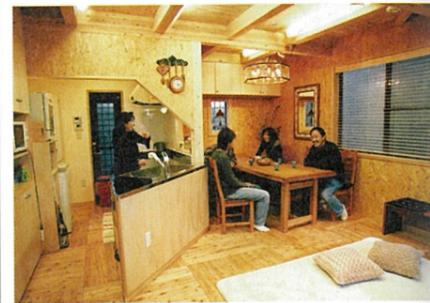
個性的な外観。屋上には見晴らし台



家族のコラージュからヒントを得る



半階上がると明るい手洗がある



セミオープンの手台で話がはずむ

house DATA

名称	見晴らし台のある家	設計監理	(有)連健夫建築研究室・ 一級建築士事務所
所在地	東京都杉並区	担当者	連健夫、高野一、 児島有里子、齊藤雄一郎
規模	RC地下1階、木造2階建て	設計設備	(有)島津設計、(有)近藤建築工房
敷地面積	67.3㎡ (20.3坪)	構造設計	(株)北島設計事務所
延床面積	64.82㎡ (19.6坪)	施工会社	(株)河崎工務店
家族構成	夫、妻、長女(大学)、 長男(大学)、次男(高校)	撮影	連健夫建築研究室
総工費	2,720万円		

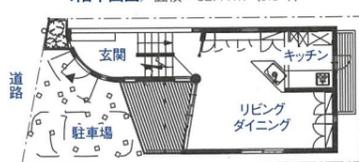
小屋裏平面図/面積: 9.42㎡ (2.8坪)



2階平面図/面積: 32.41㎡ (9.8坪)



1階平面図/面積: 32.41㎡ (9.8坪)



地階平面図/面積: 27.92㎡ (8.4坪)



連健夫 むらじ・たけお



連健夫建築研究室・一級建築士事務所
連絡先
東京都渋谷区桜丘町12-8
渋谷コーポラス209 〒150-0031
TEL/03-5456-5134
FAX/03-5456-5160
E-mail/takeo@muraji.jp
HP/http://www.muraji.jp

プロフィール

1956年京都府生、東京都立大学大学院修了、建設会社10年間勤務の後、1991年渡英、AAスクール留学、AA大学院優等学位取得の後、同校助手、東ロンドン大学非常勤講師、在英日本大使館嘱託を経て、1996年帰国し事務所設立

大切にしていること

- 心と対話する建築をめざして
- 建て主とのコミュニケーションを大切に
- コラージュや模型などを用いて
- 建て主の夢を予算に合わせて実現する